

第1号様式（第5条関係）

墨田区SDGs宣言書

墨田区長 宛

私たちは、持続可能なまちづくりに向け、下記のとおり、SDGsの推進に墨田区とともに取り組むことを宣言します。

<宣言日> 令和8年9月8日

<更新日>

<変更日>

事業者・団体等名 : 医建エンジニアリング株式会社
代 表 者 役職 : 代表取締役社長
氏名 : 田口 裕章

記

事業者・団体等としての 2030年までのあるべき姿	医療現場における放射線管理のトータルソリューションを通じて、人と環境に安全と安心を提供いたします。多様化するニーズを的確に捉え、地球環境問題への貢献、及び持続可能な社会の実現に努めてまいります。
------------------------------	---

・ 関連するSDGsの目標すべてに○をご記入ください。（複数選択可）

					
					
					

・ ○を記入していただいたSDGs目標の達成に向け、すでに具体的に取り組んでいること、又はこれから取り組むことをご記入ください。

・ 鉛を使わない放射線防護材「ホーシャット無鉛ボードXP」の製造・販売
医療施設のエックス室に使用される放射線防護材を、鉛付きせっこうボードからホーシャット無鉛ボードXPへ変更することで、鉛付きせっこうボードに使用される鉛板の製造工程で発生するCO₂を削減することができます。ホーシャット無鉛ボードXPを全国へ普及させることで、環境にやさしい医療環境を定着させ、カーボンニュートラルの実現へ貢献いたします。

・ 漏えいエックス線量測定業務を通じた、医療施設の安全管理への貢献
エックス線室からの漏えいエックス線量を測定することで、医療従事者様・患者様、すべての人が安心して利用できるエックス線診療環境の提供に貢献いたします。

・ 遮へい計算受託業務を通じた、資源有効利用への貢献
遮へい計算により、エックス線室の遮へい性能を適切に求めることで、無駄のない放射線防護へとつなげることができます。適切な資材の使用量を推進することで、資源の枯渇問題へ貢献いたします。

SDGs 達成に向けた特徴的な活動	エックス線防護工事で使用する放射線防護材に、ホーシャット無鉛ボードXPを採用した場合、鉛付きせっこうボード1枚あたり約72kgのCO2削減が可能です。全国への普及を目指し、建築設計事務所・建設会社からエンドユーザーのドクターまで幅広く広報活動することで、社会的な環境意識の向上に努めます。
宣言日から3年間の成果指標（定量的な目標）	年間のCO2削減量、約720,000kg以上（ホーシャット無鉛ボードXP出荷枚数20,000枚以上）を継続することを目標とします。
業 種	建設業
所 在 地	〒130-0026 東京都墨田区両国4-31-11ヒューリック両国ビル
事業所数（本社が提出する場合のみ）	2 事業所
従業員（構成員）数	22名（うち外国人 名）
U R L	http://www.iken-eng.co.jp
区HPへのリンク可否	はい
SDGs 宣言証の発行	希望する

・ 対象要件に関し、該当するすべての欄に✓してください。	
✓欄	対 象 要 件
☒	関係法令等に違反していない。
☒	公序良俗に反していない。
☒	暴力団及び暴力団員、暴力団の構成員と密接な関係を有していない。
※：☑がついていない箇所がある場合、対象要件に該当しないため、宣言書を受理することができません。	

・ 提出書類	
墨田区SDGs 宣言書	本紙
そのほか活動内容が分かるもの	必要であれば添付すること

※宣言書の内容は担当者以外、原則、区のウェブサイト等で公開します。